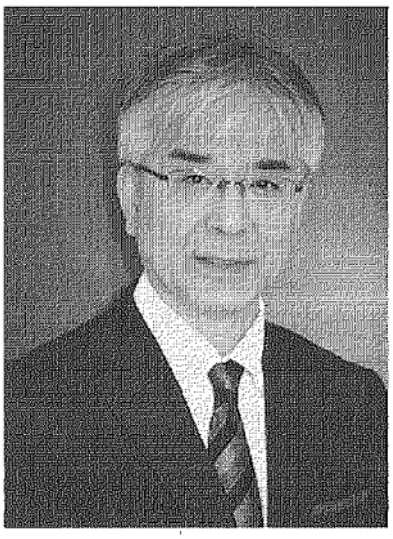
工業会　日本万引防止システム協会会長　稲本義範



新年明けましておめでとうございます。

お蔭さまにて、平成14年設立のJEASは、平成30年には、経済産業省よりEASと防犯カメラ分野の工業会認定を受け、令和2年には個人情報保護委員会認定の認定個人情報保護団体となり、万引防止システム関連に従事するあらゆる企業が参画する総会員数62法人（令和3年末は51法人）の産業団体に成長しております。

最近の万引犯罪の状況ですが、20年連続で減少してきた全国の刑法犯認知件数が増加に転じております。万引の認知件数も高止まりが続いております。スーパーマーケットなどの店舗ではセルフレジ普及などの影響もあって、ロス率が悪化に転じている店舗様から相談をお受けすることが多くなっています。

首都圏には万引による被害額が昨年の4倍に跳ね上がっている地域もあります。昨年9月頃からは、4人組の窃盗団が北関東等のドラッグストアから医薬品や化粧品を集団窃盗する事案が起こっています。確認されているだけで40件に及ぶ犯行に被害額が2千万円に及んでおり、各県警本部が連携して捜査をされています。

このような状況の中で、昨年は〝協働防犯〟を合言葉に、現場力向上のためのセミナーを積極的に開催しました。

5月に「世界のサイバー攻撃の現状とトレーニングの重要性セミナー」、5月サーマルカメラ等に保存されている個人情報（顔画像）漏洩に関する注意喚起、6月に推薦製品制度をスタート、通常総会記念講演会での移動型セルフレジのロス改善事例の紹介、7月にセキュリティショー2023大阪第1回開催に初参加、セルフレジ不正防止のための冊子の発出、8月から11月は、「セルフレジ不正対策セミナー」を各地で開催、10月には個人情報保護委員会より講師をお招きし「犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムセミナー」を開催、11月には、総務省総合通信基盤局電波部電波環境課よりご挨拶をいただき「技術セミナー中間周波に係る疫学調査及びばく露量モニタリング調査報告」を開催、さらに個人情報保護委員会事務局にご臨席いただき「第3回科学保安講習会」を開催、12月には経済産業省商務情報政策局情報技術利用促進課にご挨拶をいただき「AIカメラ等利活用の人材育成と最新・個情法パンフ活用セミナー」を開催、などを通じ、警備関係者など多くの皆様に学びの場をご提供しました。

それ以外にも、理事会毎に勉強会を開催しております。また会員間や関係者とのビジネスマッチングも積極的に実施し、新たなソリューションやビジネスにつながっています。さらにその動きをAI分野にもでも加速化するために、IoTシステム技術検定、G検定（AIやディープラーニング）、リテールAI検定、情報セキュリティ関係の資格などの各社にお願いしております。

3年目となる全国万引犯罪防止機構のロス対策士検定制度に関しては、当工業会メンバーにとっても必須のセミナーであるため、支援制度を用意し受験者拡大を推進しております。

さて、遺憾なことに、いま世界各地では戦争や分断が広がっており、国内犯罪傾向も悪化が顕著になってきています。

その原因の一つとして当事者間の対話への努力の欠如が挙げられると思います。これらを鑑み令和6年も〝協働防犯〟を合言葉に、関係者間の対話や現場重視の視点を大切にしていきたいと思います。Think Globally. Act Locally（超訳：一隅を照らすは、これ則ち世界の宝なり）という姿勢で、世界や現場を結んだ有益情報をJEASの公式ロス対策メルマガ、フェイスブック、X、JEASセミナーなどで、より多くの皆様に発信していきたいと思います。

具体的には、3月14日SECURITY SHOW 2024 JEASステージ「ロス対策&販促アップ！ディスカウントやドラッグストスの凄技」にて、ディスカウント店のロス対策やフレジ不正対策を（株）パン・パシフィックシェアードサービス総務本部危機管理部部長　後藤信明様より、万引防止機器の基礎知識を学ぶ第8回JEAS講習会、9月第4回推奨顔認証システム認定審査会、11月第4回科学保安講習会などが予定されております。

さらに海外や各地の団体との具体的な交流を活発化させなければと感じております。

JEASは、防犯民主主義実現の旗の下、EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会として、「万引犯罪をさせない店舗作り」の推進を通じて、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止や高齢者等の再犯防止という産業的、社会的役割を果たすべく、所轄官庁はじめ関連諸団体のご支援をいただきながら活動して参ります。引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

律子様に登壇をお願いしました。7月EAS機器の基礎知識を学ぶ

（株）ロケット代表取締役社長　林潤一氏より、司会は当工業会の保安業務技術長である（株）JSS執行役員東京統括部長　林俊一氏が担当します。

会場ブースでは各社の製品・サービスの紹介をしており、説明員が皆様のご来場をお待ちしております。

それ以降の予定としましては、4月業界の市場規模市場調査の実施、5月専門機関による経済安全保障とサイバー攻撃対策セミナー、6月7日の通常総会・記念講演会では「私だってできるロス分析方法（仮題）」という演題で、ミネ医薬品（株）常務取締役　富澤勇様の登壇、さらには「塀の中のおばさん」著者である読売新聞社　編集委員　猪熊